

佐世保市立木風小学校

〒857-1166

佐世保市木風町180番地

校長 山村 和也

児童数 186名（11学級）

（令和7年5月1日現在）



学校教育目標

『大きな夢を持ち、自ら学び、心身を鍛える子どもの育成』

『地域を愛し、みんなのために、進んで行動する子どもの育成』

1 テーマ

～地域の「ひと」「もの」「こと」を生かした
教育活動の充実～

～地域の人的・物的資源を生かした教育活動の充実と授業改善～

2 目的

地域を学びの場とし、目的意識や相手意識を明確にした豊かな体験活動の充実を図ることで、学校教育目標の具現化と授業改善、児童の豊かな心の育成を図る

3 実践内容

（1）「学びを起こす」授業への改善

① 地域を活用した単元づくりと学力調査による検証

授業改善について、本校の大きな課題として捉え、児童が主体的に学びに向かうために、学びの目的意識や相手意識を明確にした国語科の単元づくりを校内研修で行った。将来的に統合する白南風小学校や潮見小学校の児童を対象に、学習したことを生かして発信する学習に取り組んだ。児童が主体的に学習する「学びを起こす授業」への改善を図った。12月に実施したアンケートでは、90%以上の児童が「何のために学ぶのかという目的を意識して取り組んでいる」と回答していた。

12月には3年生以上を対象にして、国語と算数の学力調査を行い、研究の成果を検証した。同一集団の推移から、一昨年、昨年に比べ向上傾向にあったことから、今年度の研究の成果があったと考えている。今年度の実践は、各学年のカリキュラム・マネ



ジメント表に記録を行い、次年度に引き継ぐことで、さらなる成果につなげていきたい。併せて、学力調査から明確になった各学年の課題についても、朝のスキルタイム等やAI型ドリルを活用し、個に応じた補充学習に取り組むことで、学習内容の定着を図ることができた。

② 教育機器の活用による授業力向上と授業改善研修

ICTの利活用については、大きな課題として捉え、ミドルリーダーによるICTを活用した授業づくりの実践について伝達研修を行った。個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実に向け、各学年の発達段階に応じた活用を進めた。児童の家庭学習ノートにFigJamで共有する環境を整えた。次年度以降も児童の取組を共有し、児童一人一人の家庭学習の充実につなげたい。



③ 読書活動の充実

今年度は、朝の読書タイムに加え、全校集会で読書ボランティアの方に読み聞かせを行っていただく会を設定した。また、学校司書の選書による学級文庫の充実を図ったことで、子ども達は多くのジャンルの本に自然に親しむことができた。学校独自で12月に行った全校児童へのアンケートでは、89%の児童が「読書が好き」と回答し、貸出冊数も昨年度からさらに伸びている。併せて、校長による100冊以上借りた児童に対する表彰（可視化）などを継続的に行っていることも、子どもの読書意欲の向上につながったと考える。



(2) 地域の「ひと」「もの」「こと」を生かした教育活動の充実

① 見守りボランティアの皆様との交流（4月・3月）

今年度も、地域の見守りボランティアの皆様を体育館にお招きし、子ども達への紹介と登校班の約束事等の共通理解を図った。「6年生を送る会」や「自衛隊演奏会演奏会」等のいくつかの行事にも案内を出し、学校行事に参加していただくなど、定期的に学校に来ていただいた。今年度も、3月にお世話になったボランティアの皆さんに全校児童が書いたメッセージを色紙に書き、6年生から感謝の言葉を添えて、渡すことができた。



② 1・2年「ふれあい遠足」「木風フェスティバル」（11月）

地域学校協働活動の一環として、秋の自然に親しむことを目標として実施した。目的地は、烏帽子岳高原リゾート スポーツの里として、保護者と一緒に徒歩で登山した。目的地では、1・2年生は、親子で触れ合いながらどんぐりや松ぼっくりなどを拾い集めた。

集めた材料を使って、図工の時間等でおもちゃ作りを行った。作ったおもちゃは、「木風フェスティバル」で招いた幼稚園児や保護者の方と一緒に遊んで、交流を深めることができた。



③ 5年「服のチカラプロジェクト」(9月)

5年生では、SDGsについての学習の一環として、昨年度に引き続き企業のプロジェクトに参加した。使用しなくなった子供服や赤ちゃんの服を集め、外国に送るという取組を行った。全校や保護者だけでなく、地域にもプロジェクトへの協力を呼びかけるチラシを配付するなど、子ども達が自ら工夫して服を集める姿が見られた。活動の中で、子ども達のグローバルな視野も広がっている。



④ 3年「地域の方と仲良くなろう」(12月、2月)

地域学校協働活動推進員の協力を得て、今年度も地域の高齢者の方との交流会を2回実施した。音楽発表会に参加した際の合唱や運動会の表現の披露、特技の発表を行ったり、一緒に昔遊びをしたりするなど、双方にとって心温まる交流活動を行うことができた。



⑤ 6年「職場体験」(11月)

6年生では、キャリア教育の一環として総合的な学習の時間に職場体験を行った。地域の様々な職場に分かれ、実際に仕事を体験することを通して、働くことの意義や自分のキャリアについて考えることができた。いろいろな人たちとコミュニケーションを図ることの大切さを感じ、これからの自分の在り方について深く考えることができた。



⑥ 4年生ふるさと(三川内焼)学習(1月)

4年生では、ふるさとについて学習する中で、子ども達は、佐世保市が誇る伝統工芸品である三川内焼について特に興味を示した三川内焼の工房を見学した。伝統工芸士の方の絵付けの技術に触れ、佐世保の伝統産業を支える人々の思いやものづくりへのこだわりを感じることで、ふるさと佐世保への誇りや自慢に思う心情が育っている。



⑦ 海上自衛隊佐世保音楽隊を招いた演奏会(1月)

佐世保市を拠点に活動する音楽隊の演奏を通じて、地域で働く人々やその活動内容について知ることを目的に、全校児童を対象に行った。子ども達は、プロの音楽隊による質の高い生演奏に触れることで、音楽の美しさや迫力を肌で感じる事ができた。また、指揮者体験や音楽隊の方への質問タイムでは、「仕事のやりがい」や「音楽隊になるためにはどうすればよいのか」などの質問に答えていただくことで、子ども達が自らのキャリアについて考える貴重な機会となった。アンコールでは、オーケストラの演奏で木風小学校の校歌を子ども達だけでなく、地域・保護者の皆様と一緒に歌うことができた。

